

# 図画工作科学学習指導案

大和町立椋梨小学校 高槻 雄志

1 学 年 第6学年 10名

2 題材名 めざせエリック=カール

3 題材について

「はらぺこあおむし」等でおなじみのエリック=カールの絵本では、素朴ながら親しみやすい絵に目を奪われる読み手が多くいるであろう。色の濃淡やグラデーション等を用いて、切り取られた紙を組み合わせ、表された動物や虫たちは、どれも個性的である。彼のさまざまな作品から、児童は作品づくりのヒントを得ることができる。そして、自分が表したい題材を選ぶことで発想は広げられていく。

本題材では、色の濃淡やグラデーション等を用いて着色した画用紙を、選んだ題材をイメージしながら切り抜いていく。そして、児童は、それら切り取ったパーツを組み合わせ、作品を完成させていく過程で発想を広げ、大いに技能を働かせることができる。

本学級の児童は、図画工作が好きで楽しんで活動できている。ときには、手順を聞かないうちに自分から作業を進めてしまうことがある。発想を広げるまでに時間がかかる児童もいるが、もっと違ったものにチャレンジしようとする意欲を徐々に出してくる児童が多い。作品づくりの時間が不足すると、休み時間も使い集中して取り組んでいる。また、友達の作品のよさを素直に認め、そのよさを自分の作品にも取り入れてみたり、さらにもう一工夫加えようとしたりする姿も見られる。

一学期に絵の具を用いた作品づくりに取り組んだ。絵の具道具の使い方、混色等の技法に慣れていないようで、水彩絵の具を楽しく使うまでには至らなかった。

指導にあたっては、エリック=カールの絵本などの作品を見せ、作品づくりへの意欲と発想をふくらませる。さらに、指導者が簡単な作品例を提示して作成手順を十分理解させる。あわせて、簡単な作品づくりを導入することによって、さらなる工夫等、発想を広げさせるようにする。立体感や形の良し悪しにこだわらず、色の組み合わせを意識させた作品づくりをさせ、水彩絵の具を用いた楽しさを実感させたい。一つ目の作品が早くできた児童には、友達の作品を参考に新たな作品づくりに挑戦させるようにする。

4 題材の目標

新たな表し方に関心をもち、表したいものに合わせて構成の美しさを考えるとともに、自分なりに絵の具のぬり方や切り抜いたパーツの色合いを工夫して表すことができる。また、友達の作品のよさや工夫を見つけることができる。

## 5 題材の評価規準

ア．造形への関心・意欲・態度	イ．発想や構想の能力	ウ．創造的な技能	エ．鑑賞の能力
新たな表し方に関心をもち、自分で試みるなど意欲的に表現活動に取り組もうとする。	色の調子の柔らかい感じや形、色の調和的な配置の面白さ、動きなど、構成の美しさを考える。	材料の表し方を、表したいことに合わせて選び、試し、見つけたものを使って表す。	友達の作品の色使いや発想、作品構成等のよさに気づく。

## 6 指導と評価の計画（全7時間）

次	学習内容（時数）	評 価					
		関	発	創	鑑	評 価 規 準	評価方法
第二次	・参考作品を見て、表したいものの発想をふくらませる。（1）（本時）					色使いや配置による効果や面白さなど、構成の美しさを感じ取り、発想をふくらませている。	発表 ワークシート
	・簡単な作品をつくり、作業内容を理解する。（1）					自分なりの色の組み合わせを選び、作品づくりをしている。	行動観察
第二次	・自分の表したいものを考え、作品づくりをする。（4）					表したいことに合わせて色の組み合わせを選び、試しながら作品づくりをしている。	行動観察 作品
第三次	・できた作品を鑑賞し合う。（1）					友達の作品の色使いや発想、作品構成のよさを自分なりに見つけている。	発表 作品カード

## 7 本時の展開

### （1）本時の目標

新しい表し方に関心をもち、構成の美しさを感じ取るとともに、表したいものの発想をふくらませる。

### （2）観点別評価規準

参考作品から、色使いの面白さ、構成の美しさを感じ取り、発想をふくらませている。

### （3）準備物

作品例、エリック＝カールの絵本やシルクスクリーン、画用紙

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
1 本時の学習課題を理解する。	・児童が良く知っている「はらぺこあおむし」から示していく。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     エリック＝カールの作品を参考にして、自分の表したい動植物を考えよう。                 </div>			
2 エリック＝カールの作品を見て気づき等を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色の使い方について注目させる。</li> <li>・どのようなつくり方をしているのか想像させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色使いや配置による効果等、構成の美しさについて、自分なりに気がついたことを発表している。</li> </ul>	発表
3 自分が表したいものを考え、構想を練る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構想ができた児童は、どのような色を組み合わせているのかも考えさせる。</li> <li>・イメージがわきにくい児童は、図書室の本などを参考にさせる。また、写実的にならなくてもよいことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考作品から感じたことをもとに、構想を練り、表したいものについて発想をふくらませている。</li> </ul>	行動観察 ワークシート
4 本時のまとめをし、次時への見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間に余裕があれば、構想したものを発表する場を設け、交流させる。</li> </ul>		発表